

たかぎ



議会だより

No.48

平成22年1月

発行 長野県喬木村議会
編集 議会だより編集委員会
発行責任者 原 嘉俊
印刷 龍共印刷(株)



八幡神社の初詣

平成21年第4回定例会…………… 2

常任委員会報告…………… 4

一般質問 11名が村政を問う…… 5

三遠南信自動車道建設にかかわる意見書…11

この村に住んで 私の一言……………12

あとながき……………12

会計名	補正額	予算総額
一般会計 (第6号)	6,821万9千円	33億0,711万0千円
特別会計	国民健康保険 (第3号)	△40万6千円
	介護保険 (第2号)	5,475万6千円
	村営水道 (第2号)	△900万0千円
		3億1,177万9千円

平成21年第4回定例会 一般会計六千八百万円余を補正

平成21年第4回定例会が11月30日から12月18日までの19日間の会期で開催されました。この議会に村長から提案された議案は、条例案件7件、規約改正1件、村道路線認定1件、補正予算4件で、いずれも可決しました。また、請願1件、議員発議1件を採択し、意見書を関係機関へ提出することに決定、陳情1件については不採択となりました。

議員の一般質問には、11人から20項目にわたり村政に対しての村の方針等について村長、教育長の考えをただしました。

条例改正

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告による給与、手当の引き下げ
- 喬木村教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部改正
特別職、議員の期末手当支給月数の引き下げ
- 喬木村消防団員等公務災害補償条例の一部改正
消防法の一部改正に伴う関係条例の整理
- 喬木村障害者等共同作業訓練施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
移転に伴う所在地の変更
- 喬木村いこいの家設置及び管理条例を廃止
取り壊しに伴う廃止
- 喬木村体育施設設置の設置及び管理に関する条例等の一部改正
旧中学校跡地テニスコートの廃止
- 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
職員の不祥事に伴う減給

規則改正

- 南信州広域連合の規約改正
広域行政圏・ふるさと市町村圏廃止による
- ・野生鳥獣被害対策防護柵整備調査費
150万円
- ・子育て応援特別手当の執行停止の減額
△744万円
- ・伊久間原果樹組合SSリース事業補助
303万円
- ・富田地区災害関連防災工事負担金
300万円
- ・竜東一貫道路(伊久間地区)舗装修繕費
2,422万円

補正予算

- 一般会計
・上平集落センターの改修補助
40万円
- ・第一公民館設計額と落札額との差額
△888万円
- ・全国瞬間警報システム整備
1,154万円
- ・いちごチャンネルデジタル化
337万円
- ・自立支援給付費
1,900万円
- 国民健康保健特別会計
20年度精算及び保険料軽減による繰入金の減額。
- 介護保険特別会計
介護認定者の増加、居宅介護サービス等の増。
- 村営水道特別会計
起債の借り換えによる償還元金の減額。

定例議会

村道路線の認定

◇村道路線の認定

村道511号(旧中ダ
ランド東側) 認定路線

請願・陳情

◇日米地位協定に関わる

「裁判権放棄の日米密
約」の公表と破棄を求
める請願

請願者 長野県平和委
員会 代表理事 永井
光明 須坂市墨坂51
2017

採択

◇後期高齢者医療制度の
廃止と市町村国保の改
善を求める陳情

陳情者 喬木村122

68

不採択

議員発議

◇三遠南信自動車道建設

にかかわる来年度予算
の大幅削減を撤回し、
工事促進を求める意見
書：内閣総理大臣ほか
関係機関へ提出
(意見書は11頁に記載)

議会報告

議長 原 嘉俊



◇町村議長全国大会
開催される

昨年11月11日、第53回町

村議会議長全国大会がNH
Kホールで開催された。未
曾有の経済危機を背景に、
景気低迷によるきびしい雇
用情勢の中、地域経済は一
段と悪化の傾向を強めてい
る。こうした状況を打開し、
真に地域を再生するために、
地方分権の中、各町村は自
治能力を高めるべく、果敢
な行動を起す旨の宣言を採
択し、そのための実践的な
決議をした。決議の主なも
のは、

一、地方分権改革の実現を
期する

一、町村税財源の確保を期
する

一、新過疎法の制定を期する

一、町村議会の活性化を期
する

一、少子高齢化に伴う保健
福祉対策の拡充強化を期
する

◇三遠南信サミット開
催される

昨年11月13日、豊橋市

に於て第17回三遠南信サ
ミット2009 in 東三
河が開催された。

今回は三遠南信地域連
携ビジョン推進会議が主
催する初のサミットであ
り、日本の県境連携モデ
ルの構築をテーマに、「道」
「技」 「風土」 「山・住」な
ど4分科会で議論がされ
た。なかでも「道」分科
会では、三遠南信自動車
道と、リニア中央新幹線
の同時期完成に向けて、
強い期待が示された。さ
らに政権交代の影響や財
政難からのきびしさを背
景に、今までの以上の要請
活動の必要性が確認され
た。

また、今年のサミット
は飯田市での開催が決まっ
ている。

◇南信州定住自立圏
構築が策定される

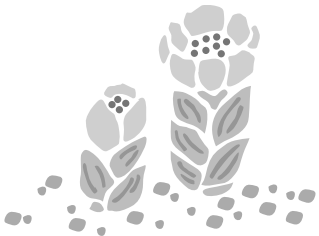
定住自立圏構想について

は、昨年7月各議会の議決を
経て、中心市飯田市と13町村
が圏域形成協定を締結し、12
月には具体的な実施事業を盛
り込んだ共生ビジョンが策定
された。この締結は、全国22圏
域の中で第1号となっている。
定住自立圏は、若い人たちが
飯伊地域を終わりの住みかとして、
安心して生活していけるよう
構築することが目標の一つで
ある。

共生ビジョンは、全市町村が
関連する救急産科医療体制の
確保や、住民が元気でいきい
きと暮らしていけるようにす
るための福祉政策、産業振興、
地域ぐるみによる環境改善活
動の推進などが示されている。
さらに喬木村としては、賑わ
い拠点整備事業で、農村交流
センターを拠点に、滞在型農業
観光への交流を拡大するなど
具体策を検討しつつある。



村道511号旧中東側



総務産業建設常任委員会

委員会に付託された消防団員等公務災害補償条例の一部改正、村道路線の認定、21年度一般会計補正予算(第6号)、21年度村営水道特別会計補正予算(第2号)について審査の結果、いずれも可決・認定した。

日米地位協定に係わる裁判放棄の日米密約の公表と廃棄を求める請願を、採択し、意見書の提出を

決定した。
審査質疑から
一般会計補正予算(第4号)で補正した庁舎太陽光発電設置、エアコン工事が未発注となっているが、国からの交付決定により発注する。

・全国瞬時警報(ジエイアラート)の導入により、地震速報、弾道ミサイル発射等の緊急情報を通信衛星等を経由

して、自動的に住民に伝達(くりんネット)されることになる。
・合併浄化槽の対象戸数は370戸で、うち320戸設置済み、あと50戸未設置。
・阿島北地区の宅地造成事業は、遺跡発掘に伴い今年度の事業実施はできない。

議員発議から

当委員会の議員からの提案により「三遠南信自動車道建設にかかわる来年度予算の大幅削減を撤廃し、工事促進を求める意見書」について、

地方自治法99条により関係機関に提出することを決定した。

視察研修

総務産業建設委員会は、10月28日岐阜県大野郡白川村、小規模水力発電所「しらみずのチカラ」の視察研修を行った。



小規模水力発電所前にて

社会文教常任委員会

委員会に付託された条例の一部を改正する条例2件、条例の廃止1件、一般会計補正予算、国保特別会計・介護保険特別会計補正予算について当委員会は可決した。陳情は不採択と決した。

審査質疑から

自立支援関係経費は1千8百万円と大幅増であるが当初予算の段階で前年度並みに予算計上したため、今後そのようなことのないよう要望が出された。

太陽光発電売電等装置取付手数料は、売るためには装置が必要であり、補正する。

介護保険特別会計は、介護サービスの居住介護サービス費5千万円と大幅増となっているが、施設への短期入所者・老人保健施設への入所者の増によるもので、1く2割



芝グラウンドの視察

増加しているため。

陳情

陳情については、後期高齢者・高齢者医療制度は問題があるため基本的に廃止することに賛成であるという意見や、後期高齢者医療制度を老人保健制度にもどすことにより保険税が高くなる資料もでてくるなどの反対意

見が出され、採択1人、不採択4人で当委員会では不採択と決した。

視察研修

社会文教委員会は11月19・20日の両日、静岡県磐田市の学校グラウンドの芝生化と掛川市の養護施設「ねむの木学園」等の視察を行った。

各常任委員会報告

一般質問



Q 国政では、事業仕分けが行われている。近隣市町村は行政評価で事業検証し、次年度の計画に反映している。本村の評価方法として、自己評価方法と外部者による評価方法が考えられる。外部者による評価方法が適当であると思うかどうか。

A 村では平成21年度の予算編成から、振興計画に基いた評価シートを作成して、21年度の成果指標を掲げた。22年度の予算には、21



職場風景

村長

第三者を含めた評価委員会を設置したい

行政評価の、評価方法は

筒井正司 議員

年度の取組評価に基づいて編成をするが、特に22年度は、第4次振興計画の見直しの年でもある。評価方法は、現在担当

が評価を行ない、内容が住民にわかりやすく情報公開をして、第三者を含めた評価委員会を設置していきたい。

組織体制は

木下 壽雄 議員

村長

課、室の統合等を考えている



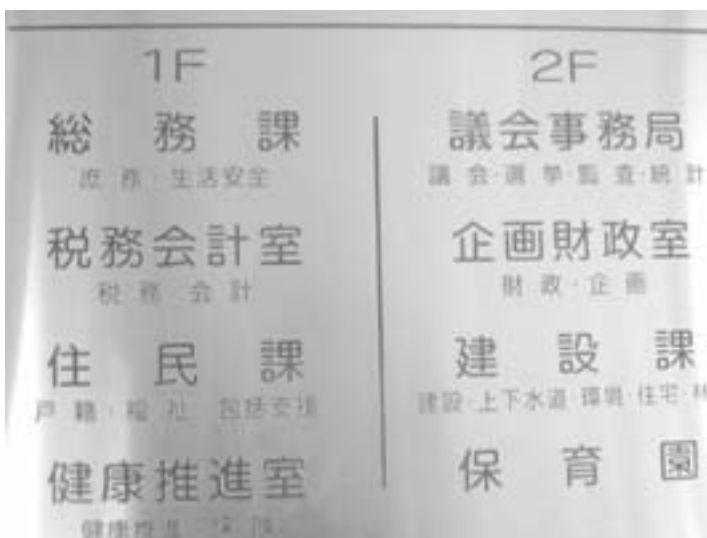
Q 平成14年10課（大平村長誕生）、15年9課、16年8課（7月住民投票にて自立に決定）、9月に1課増える。17年（自立元年）8課、18年から21年迄は10課、類似町村に比べて課の数が多いがどう考えているか。
第二小学校では昨年の4月から「かみかみセンサー」を使った活動が始

まった。毎月10日と20日に使用し、嘔むことを意識して。第一小学校、中学校ではどのような啓蒙活動をしているか。

グループ制は残すにしても、もう少し大きなグループでもよいと思われるので、課、室の統合などによる組織改革を考えている。

A 他町村に比べて課の数が多いのは、少人数によるグループ制をとってきた事による。しかし来年度、課長職の退職者が多いことから、グ

第一小では全校で給食週間の際に、かむことの大切さ等の指導をしている。中学校では年間計画の歯科指導の中で取り組んできている。



役場組織案内板

一般質問

国の事業見直しの影響は

横前 豊 議員

村長

補助金が削減されても計画実施を



Q 国では政権が変わり、事業の見直しにより、多くの事業が廃止や削減になっている。村では今年度から来年度にかけて児童館（仮称）の建設、鳥獣被害防止の施設、クラインガルテン等、国の補助で行う事業を計画しているがその影響はあるのか。

喬木の振興計画の中に中原の運動公園周辺は学校施設と併せ教育ゾーンとなっている。施設利用について広くアピールして大きな大会を積極的にとり入れたらどうか、また、その周辺のまだ農振除外地に宅地造成をしていく考えはあるか。



国の補助事業 クラインガルテンの予定地 (大島)

A 現在建設中の児童館は地域活性化、経済危機対策交付金によって実施している。来年度のクラインガルテンの建設、野生鳥獣被害防止策などは総合振興計画並びに実施計画に沿った新年度の主要事業の一部で、

国からの補助金の事業でもある。鳥獣被害防止総合対策事業や、クラインガルテンは補助金の減額が予想される中、村では補助金が削減、減額されても来年度事業として実施をしていく計画である。

Q 今、私達は高齢化社会を迎えている。足腰を痛め歩きづらくなっている方々が、選挙の一票を投じられないでいる。車椅子が乗せられるリフト付き移送車を村民に貸し出す事はできないか。

来年度事業の方向性を伺う。10万人余りの観光農業で訪れる人々の村への経済波及効果をどのよ



弱者への投票支援を

元 島 賞 子 議員

村長

社協と連携し、リフト付き移送車の貸し出しを検討してく



リフト付移送車

うに高めるか。歴史ある村の特色を生かすために、歴史民俗資料館、阿島傘、8百年の歴史を持つ小川の湯等をどう活かすのか。

A リフト付き移送車は、操作が難しいので、貸し出しには心配もあるが、これから具体的に貸し出し方法を検討していく。

農業観光で訪れる多く

の人々を村内に長く滞らせる工夫は必要。ホームページの充実を図る等、情報発信の必要性を感じている。歴史民俗資料館、阿島傘は今後活かし方を検討していく。小川の湯は村の社協とも連携をとり、高齢者の方が入りやすく利用される事によって、村民の利用機会が増えるのでは。

一般質問



Q 環境問題は世界的に取り組みがなされている。地区防犯灯をLEDに交換する等更なる取り組みとして実践したかどうか。

現在の喬木村役場の組織を見ると10の課・室等がありそれぞれに課・室長がいる。今年度末の多くの退職を機会に役場組織のあり方について考えたらどうか。

A 平成20年に喬木村の地域新エネルギービジョンを作成、策定を

村長

防犯灯新設は本体全額補助する

環境問題への取り組みは

大平 武司 議員

し環境対策の一環として新しいエネルギーの活用について取り組みを始めたところである。当面は地区要望の新設防犯灯についてLED本体、約1万8千円を全額補助をし、他の部分は従来どおり½

補助とする。設置済み防犯灯は国の補助事業を視野に入れながら取り替えていく。役場の組織改革については、検討し住民サービスの向上につなげたいと考えている。



防犯灯

国保税の応能・応益割の見直しを

原 東彦 議員

村長

低所得者に配慮した応益割を考えている



Q 国保税の「応益割の『縛り』廃止」を国では予定している。応能・応益割の見直しを行い、低所得者の国保税を引き下げることが必要と思うがどうか。

村長は、クラインガルテンの運営は地元の熱意とやる気を村として応援していくというが、この管理運営についてしっか

りした試算が出来ているのか。後期高齢者医療制度の「特別対策広報等事業交付金」の人間ドック事業健康診査受診事業を積極的に取り入れるべきと思うがどうか。

A 税制改正で応益割の引き下げが可能となると思う。国保財政を勘案しながら、低所得者に配慮した応益割を考え



高齢者の送迎

維持管理は地元で行ない、管理運営についての試算はできてない。本年度人間ドック事業の計画書を提出した。健康診査事業は無料で受診できるので次年度以降も周知したい。



一般質問

22年度の予算編成は

村長

大型建設事業で予算規模は30億円超

小澤 博 議員



Q 世界同時不況から厳しい行財政運営に直面する中で、将来に向けて持続可能な健全財政を維持しなければならぬが、平成22年度の予算編成方針、取り組む主な事業、予算規模はどうか。予算編成で、新たに定住人口対策をどう考えるか。新政权は環境対策で世

A 総合振興計画を基に実施計画の事業を中心に必要性、緊急性を検

界をリードする決意を示しており、環境問題の取組が必要と思うが、CO2削減対策をどう考え、新年度どう取り組むか。

討し厳しい財政状況で行政サービスの水準を低下させないよう努力したい。主な事業は、共同調理場、クラインガルテン、野生鳥獣防護柵、村道改良等大型の建設事業で、予算規模は30億円を超える見通し。喬木村に定住できる、人口増加対策を新たに考えたい。

Q 21年度も残り3カ月余りとなったが、今年度は6月、9月議会において地域活性化経済対策交付金として、多くの事業が補正予算として追加されたが、その事業の進捗状況はどのようになっているか。また、未着工のものはいつから始めるか。

政権交代により、事業



企画財政室

21年度事業の進捗状況は

森谷 博之 議員

村長

未着工分は年明け早々に取り組む



の見直しなどはあるか。

A 6月補正分の事業は第一小学校太陽光発電が完了。現在進行中が、児童館の建設、学校の理科教材購入、旧中跡地の整備、中学校、第二小学校の太陽光発電である。

未着工分は、各学校のデジタルテレビ購入・アンテナ工事、保育園排煙工事であり年明け早々に取り組むたい。

9月補正分が、国の見直しで不採択となった場合は、役場庁舎の太陽光発電、エアコン改修は中止する。



第一小体育館屋根の太陽光発電パネル

一般質問



Q 現在建設中の児童館は隣接するグラウンドやマレットゴルフコースを使つての大会時には、更衣場所等として全館解放の予定と聞いている。一方、運動公園は、多目的グラウンドをはじめ多くの施設が、連日連夜に亘り利用されているが更衣設備がない。このため女性はトイレでの着替えを余儀なくされている。運動公園の更衣設備をどのように考えているか。



テニスコート

運動公園に更衣設備を

昼神 二三男 議員

村長 設置について検討を進める

A 第四次総合振興計画におけるクラブハウス設置の研究は、随時、担当者レベルで検討・研究をしてきたが、管理面や利用頻度また、費用対効果を考慮する中で、クラブハウスの設置については見送つてきた。

一方、多目的グラウンドには、大会本部席を想定した雨よけ施設の設置

また、テニスコートには荷物置き場等を兼ねた雨よけ施設を設置した。

更衣施設の必要性は、運動公園ができた時からいわれていたが、具体的な形とならずに今日に至っている。利用者のニーズがあることを把握しているので、設置について検討していきたい。

国保保険証のカード化は

大原 裕夫 議員

村長

加入者の意向調査し審議のうえ決める

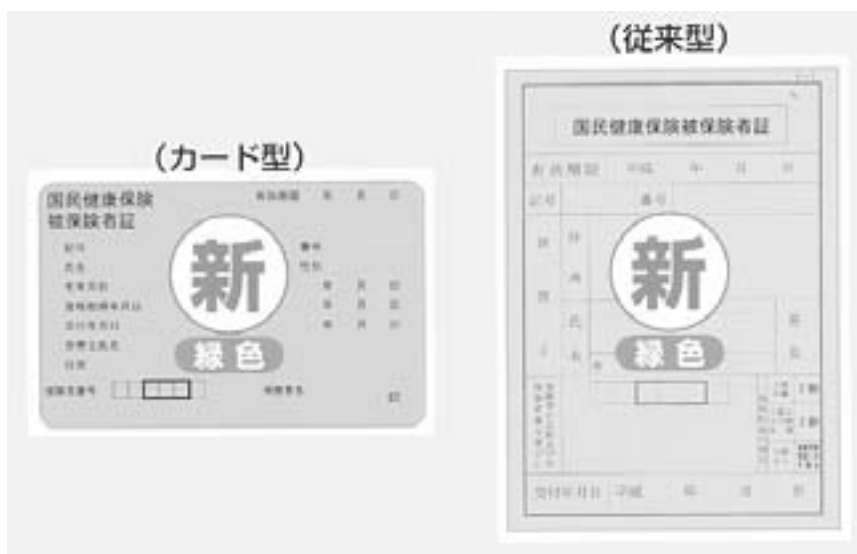


Q 現在、喬木村では国民保険の加入者は、が被保険者証(世帯証)を所持しているが、不便を感じているという声を聞く。近隣町村の状況とカード化した場合、保険料はどのくらい増額となるのか。

カード型に移行する考えはあるか。

A 飯田市では、平成19年10月より実施されている。北部町村では、松川町が平成22年10月からカード化の予定でその他町村では、具体的な話は聞いていない。

カード化した場合、1人あたり285円の負担増となるが、加入者の意向調査を行ない、その結果を踏まえ、国保運営協議会で審議のうえ、村としての方向を決める。



健康保険証のカード

一般質問

村長

児童館運営は

太田 忠 議員

利用者等の要望を含め検討



Q 親や子供達を含めた広範な意見を取り入れた児童館運営を望むが現状はどうなっているか。

9月議会の教育委員人事案件は議会最終日近くまで名前が伏せられ議員に判断する十分な時間を与えなかったのは不当である。今後は正当な提案

の出し方をしてほしいが村長の考えは。

職員が地域別担当は住民の自主的活動を支援していく意味があると思うが現状と問題点はあるか。

A 当面は、従来の児童クラブ、放課後子ども教室に加え、児童不在の時間帯に子育てサロ

ンの開設等、人員配置も含め検討中である。施設開設後は、利用状況、利用者等の要望を聞く中で、新しい運営方法を検討していく。

議会運営委員会に対し本案件は最終日に提案する旨を伝えてあり、特に不信を招いたとの感はない。

自治活動の支援、行政とのパイプ役としての制度であるが、活動内容に地域差がある。職員の育成も含め地域の振興を図るため活用されたい。



建設中の児童館

三遠南信自動車道建設早期実現に向け
議員からの自発的な提案による
意見書を提出した



11頁へ
続く

三遠南信自動車道建設にかかわる来年度予算の 大幅削減を撤回し、工事促進を求める意見書

三遠南信自動車道は、飯伊地域と浜松市を結ぶ延長約100kmの高規格幹線道路である。

そもそも、遠州（静岡県）と南信州（長野県）、さらに東三河（愛知県）の三地域は、三遠南信地域として古くから環境、文化、風習などを共有し、海と山との交流が育まれてきた歴史的な圏域である。

こうした地域が、県境を越えた連携により、人の流れを円滑にし、交流の輪を盛んにすることにより、地場産業の発展と中山間地域の振興など大きな効果が期待される、まさに夢の架け橋としての三遠南信自動車道である。

この三遠南信自動車道は、逐次工事が進みつつあり、とりわけ、2001年には、整備方針の見直しがなされ、現道区間をより多く活用（長野県事業区間21.1km）すると同時に、橋梁の少ない道路線形に改めるなど当初予算を大幅に削減しつつ、より効果的な施行がなされてきたのである。そして完成目標時期は、平成20年代後半といわれ、関係地域はリニア中央新幹線の到来と相まって、いよいよ期待度が高まっているのである。

また、昨今は、かつての矢筈トンネル区（4.8km）供用開始に引き続き、飯喬道路（飯田市山本～喬木村）22.1kmの内、第1工区7.2km（飯田市山本IC～天龍峡IC）が昨年開通し、輸送時間の短縮による暮らしの利便性が向上し、真に必要な道路としての重要性を改めて実感しているのである。

しかるに国土交通省は、このほど三遠南信自動車道の飯喬道路第2工区（飯田市川路～上久堅）と県境の青崩峠道路（飯田市南信濃～浜松市水窪）にかかわる来年度予算の概算要求分を今年度（平成21年度）事業費の3割程度に大幅縮減する旨発表したのである。

このことは、地元住民の三遠南信自動車道にかかる期待と命をつなぐ道路として熱望していることに水をさすものであり、極めて遺憾である。

とりわけ三遠南信圏域は、毎年交流と連携の強化を図るべく行政、経済が一体化の中でサミットを開催し、今年で17回目を数えている。そして250万流域都市圏の創造をテーマに三遠南信地域連携ビジョンをまとめ、これが実現のためにも命をつなぐ道路の必要性はきわめて重要な要件となっているのである。

現政権が主張する「地域主権」の確立については、大いに期待するものである。そして「コンクリートから人へ」の方針を唱えるのであれば、地域が熱望する生活道路としての必要な社会資本の拡充こそ人的尊重政策の最たるものであると思う。

単に画一的な費用便益比での効果判断ではなく、第三者機関による事業評価監視委員会が下した「三遠南信自動車道事業で建設中の3事業は継続」との答申を前向きに受け止め、沿線地域住民の期待に応えられるよう、下記事項の実現について強く要望する。

記

1. 三遠南信自動車道の建設にかかわる予算の大幅削減構想を速やかに撤回し、事業進捗が期待できるよう来年度予算の確保をはかること
2. 三遠南信地域にとって必要不可欠な道路としての認識を再確認し、地域の期待に添うよう早期完成を期すること

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成21年12月18日

衆議院議長	横路 孝弘	殿
参議院議長	江田 五月	殿
内閣総理大臣	鳩山 由起夫	殿
国家戦略担当大臣	菅 直人	殿
総務大臣	原口 一博	殿
財務大臣	藤井 裕久	殿
国土交通大臣	前原 誠司	殿
内閣府特命大臣（行政刷新）	仙石 由人	殿

長野県下伊那郡喬木村議会

和太鼓グループ「酔鼓」

阿島北

三石 加代子



こんにちは!! 私達は和太鼓グループ「酔鼓」です。指導をして下さっているアート・リー先生は日本で初の芸術ビザを取得、'05年の東京国際和太鼓コンテストで最優秀賞を受賞、日本は勿論世界中で公演をしています。



この村に住んで私の一言

アート先生の初心者教室があるのを知り村内から五人が参加し、飯田の若い人達と一緒に10人の教室が出来ました。'07年の9月に「幸い下伊那和太鼓フェスティバル」があり、習い始めて1年足らずでしたが初めて人前で演奏しました。無事演奏し終えた満足感と感動で皆の心が一つになり、盛り上がった打ち上げの雰囲気から「酔鼓」と名付けました。その後メンバーが入れ替わり

現在は11人でAETのポールさんも加わり国際色豊かになりました。優しく気長に指導して下さいレパー トリーも増えました。今太鼓が楽しくて夢中です。毎週月曜日社会体育館で練習しています。興味のある方は見学に来て下さい。待つてまっす!!



文化祭にて

3月定例議会に傍聴に来て下さい

役場2階議場で開催いたします。細かい日程、内容については、議会事務局までお問い合わせ下さい。多くの方の傍聴をお願いします。

問い合わせ先 ☎33-3800

議 会 日 誌

10月	
15日	リニア早期建設促進大会
26日	北部ブロック議員総会
27日	総務産業建設常任委員会研修視察～28日
29日	天竜川架橋協議会
11月	
6日	天竜川架橋建設期成同盟会総会
9日	教育委員会、社会文教常任委員会懇談会
19日	社会文教常任委員会視察～20日
22日	東海地区ふるさと会



新春を迎え皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。昨年は喬木村が発足135周年を迎え多くの記念行事が開催されます。地域の活性化を願う自立可能な村づくりを願うばかりです。国内においては景気の二番底が心配されていますが新政権での更なる景気対策を打って頂きたいものです。村と議会は村民の皆さんが喬木村に住んで良かった実感が味わえる様な協働な村づくりを目指し、今年も、活発に働いてまいります。議会、だよりも見やすく分かりやすい広報誌づくりを目指し努力してまいります。なお、今回から年頭のあいさつは省略しました。

編集委員会

- 委員長 横前 豊
- 副委員長 小澤 博
- 委員 元島 賞子
- 委員 森谷 博之
- 委員 昼神 三男